

1 日 時 7月 日 () 第 時 4年4組教室

2 単元名 『白いぼうし』(10時間扱い／本時は第10時)

3 本時の目標

(1) 目標 松井さんがちょうを逃がしてしまった代わりに夏みかんを置いたことの是非について考えることを通して、松井さんの優しい人柄への理解を深めることができる。

(2) 展開

流れ	学習の流れと予想される子どものあらわれ	留意点・教師の支援
個人	松井さんが、ちょうを逃がしてしまった代わりに夏みかんを いれたことについて、どう思いますか？ ・松井さんは優しい ・男の子ががっかりしないように ・お母さんの夏みかんなのに… ・男の子はがっかりするはず	書き込みから価値ある問題を作り「〇〇さんの疑問」として位置づける。 考えを分類し、視点(考えのズレ)を示す。
一斉	----- (前 時) ----- 3の場面の音読(班での配役音読)をする。 松井さんが白いぼうしの中に夏みかんを入れたことに賛成しますか。	代表的な考えを持つ児童を指名し、問題を焦点化する。
友だちタイム	〈 松井さんの立場から 〉 ・賛成。男の子の大事なちょうを逃がした代わりに入れているから。 ・自分の大切な夏みかんを入れたから、気持ちが伝わると思う。 ・別のちょうをつかまえるのは、松井さんらしくない。 ・お客さんが乗っているから無理なんじゃないか。	[友だちタイム] 後、色付箋紙にもう一度考えをまとめる。(工夫した書く活動) 黄：自分に関して 赤：友だちの影響
個人	〈 男の子の立場から 〉 ・反対。ちょうちょうが入っていると思って喜んで戻ってきたのに、夏みかんが入っていたらがっかりする。お母さんを引っぱっている。 ・まず、驚くと思う。「まほうの夏みかんと思うかな」と松井さんも言っているように、不思議な気持ちでいっぱいになると思う。 ・菜の花畑でもう一度ちょうを捕まえて入れたらいいのではないか。	[一斉]の時に[友だちタイム]で影響を受けた人を紹介させたい。
個人	〈 ちょうの立場から 〉 ・賛成。「よかったね。」「よかったよ。」と言っているのだから、ちょうちょうを逃がしてあげてよかった。 ・でも、夏みかんでよかったのかな。男の子は不思議に思うかも。	賛成かどうかの話し合いの中から、松井さんの人柄について焦点を当て、深めたい。
一斉	白いぼうしに夏みかんを入れた松井さんは、どんな気持ちだったのだろう。(松井さんは満足しているのだろうか?) ・ごめんね。 ・ちょうをもう一度捕まえたらかわいそうだ。 ・せめて、ちょうの代わりに自分の大切な夏みかんで許してほしい。 松井さんが優しい人だということが、いろいろなところからわかるな	付せん紙を黒板に貼り本時の話し合いを俯瞰し、まとめをする。 【評価】松井さんの人柄を読み深めることができたか。(読む)